

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
01:上水道課					
管路					
1工区					
1工区 (資材) 本設					
	ポリエチレン管 (融着接合管) φ 75mm	EF受口付直管	本	79	
	不断水T字管 (DC I P用・バルブ付) φ 75mm × φ 75mm	フランジ'接合材1組合む	個	1	
	不断水T字管 (E F用・バルブ付) φ 150mm × φ 75mm	フランジ'接合材1組合む	個	1	
	フランジ短管 (G型) φ 75mm		個	2	
	ソフトシール弁 (E F管対応型) φ 75mm		個	2	
	仕切弁 (FCD製) φ 50mm	フランジ'接合材2組合む	個	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 鉄蓋 情報5項目取付式	H=150 JWWA B 132	組	5	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 調整リンド	H=50 JWWA K 148 PR25 (K)	個	8	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 上部壁	H=150 JWWA K 148 RA25 (A)	個	5	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 中部壁	H=200 JWWA K 148 RB25 (B)	個	4	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）下部壁	H=300 JWWA K 148 RC25 (C)	個	5	
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）底版	H=40 JWWA K 148 RS25 (S)	組	5	
	EFソケットφ75		個	6	
	EFキャップφ75mm		個	1	
	MFジョイント 離脱防止付φ50mm		個	2	
	V P管用鑄鉄製キャップ離脱防止付φ75mm		個	1	
	PE差口付鑄鉄製T字管（G型）φ75mm×φ75mm		個	1	
	レバーロック式急速空気弁φ25mm	補修弁フランジ補強パッキン・ボルト付	個	1	
	消火栓・空気弁用角型鉄蓋・受枠	35×45型 C T C 350×450同等品以上	組	1	
	消火栓・空気弁レジンボックスA	A450×350-200 (H=200) CTC350×450同等品	個	1	
	消火栓・空気弁レジンボックスC	C450×350-200 (H=200) CTC350×450同等品	個	1	
	消火栓・空気弁レジンスラブS	S680×200-40 (H=40) CTC350×450同等品	個	1	
	ダクタイル鑄鉄管 フランジ短管	φ75, L=150, RF-GF, 内面エポキシ樹脂粉体 7.5K	本	1	
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm	m	496	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	管路識別マーカー杭				
	ポリエチレンパイプ 1種 φ13mm	外径21.5mm 肉厚3.5mm 重量184g/m	個	19	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ20mm	外径27.0mm 肉厚4.0mm 重量269g/m	m	64.5	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ30mm	外径42.0mm 肉厚5.6mm 重量595g/m	m	26	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ50mm	外径60.0mm 肉厚8.0mm 重量1216g/m	m	4.5	
	ポリジョイント (エルボ) φ13mm	耐震型・ワントタッチ式	m	7	
	ポリジョイント (エルボ) φ50mm	耐震型・ワントタッチ式	個	1	
	ポリジョイント (ソケット) φ50mm	耐震型・ワントタッチ式	個	2	
	ポリジョイント (異形ソケット) φ20mm×φ13mm	耐震型・ワントタッチ式	個	1	
	ポリジョイント (P Vソケット) φ13mm	耐震型・ワントタッチ式	個	1	
	ポリジョイント (P Vソケット) φ20mm	耐震型・ワントタッチ式	個	14	
	ポリジョイント (P Vソケット) φ30mm	耐震型・ワントタッチ式	個	1	
	EF管用ポリエチレン分水栓 φ75mm×φ13mm PPエポキシ 20×p13	耐震型 (PPエポキシゲット・メタルパッキン含む)	個	1	
	EF管用ポリエチレン分水栓 φ75mm×φ20mm	耐震型 (PPエポキシゲット・メタルパッキン含む)	個	14	
			個	2	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	EF管用トリ付分水栓 φ 75mm × φ 30mm	耐震型 (PPエポキシコウト・メタルパッキン含む)	個	1	
	EF管用トリ付分水栓 φ 75mm × φ 50mm	耐震型 (PPエポキシコウト・メタルパッキン含む)	個	2	
1工区 (労務) 本設					
	ポリエチレン管据付工	径75mm	m	394.6	
	ポリエチレン管据付工	径50mm	m	7	
	ポリエチレン管据付工	径30mm	m	4.5	
	ポリエチレン管据付工	径20mm	m	26	
	ポリエチレン管据付工	径13mm	m	64.5	
	ポリエチレン管切断工	径75mm	口	4	
	硬質塩化ビニル管切断工	径75mm	口	1	
	不排水連絡工 (簾据付含む)	φ 75 × φ 75	箇所	1	
	不排水連絡工 (簾据付含む)	φ 150 × φ 75	箇所	1	
	仕切弁設置工 (簾据付含む)	φ 75 H=900mm	箇所	2	
	仕切弁設置工 (簾据付含む)	φ 50 H=900mm	箇所	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	空気弁設置工 (箇所付含む)	φ 25mm			
	ポリエチレン管継手工	径75mm 融着継手をする	箇所	1	
	メカニカル継手工	径75mm メカニカル継手をする	箇所	86	
	フランジ継手工	径75 (80) mm JWA 7.5K (0.74MPa)	口	3	
	フランジ継手工	径65mm以下 JWA 7.5K (0.74MPa)	口	4	
	ポリエチレンスリーブ被覆工	径75mm 固定用コネクタ	口	2	
	明示テープ布設工		m	394.6	
	ポリエチレン管継手工	径13mm 融着継手としない	m	496.1	
	ポリエチレン管継手工	径20mm 融着継手としない	口	31	
	ポリエチレン管継手工	径30mm 融着継手としない	口	3	
	ポリエチレン管継手工	径50mm 融着継手としない	口	2	
	サドル分水栓建込み工	ポリエチレン管, 本管呼び径 75mm, 給水管呼び径 13mm	口	6	
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 75mm 給水管呼び径 20mm ポリエチレン管	箇所	14	
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 75mm 給水管呼び径 30mm ポリエチレン管	箇所	2	
			箇所	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 75mm 給水管呼び径 50mm ポリエチレン管	箇所	2	
	メカニカル継手取外し工 (補正係数)	径75mm以下 K形	口	1	
	仕切弁筐再使用撤去	H=890mm		1	
	仕切弁筐再使用撤去	H=1, 190mm	箇所	1	
	廃プラ処分費		kg	2	
1工区 (土工) 本設					
	舗装版切断(施工バ ッカージ)	アスファルト舗装版 15cm以下	m	540	
	汚泥運搬・処分工		m3	1	
	舗装版直接掘削・積込工				
	インターロックブロック撤去工 (市場単価)	再使用目的 (6, 8cm)	m2	250	
	管路掘削工 (バックホウ掘削積込)	砂・砂質土	m2	28	
	管路埋戻工 (機械埋戻)	RC-40	m3	260	
	管路埋戻工 (機械埋戻)	クッション用砂	m3	60	
	発生土運搬費	砂・砂質土 8 km	m3	130	
			m3	260	

数量総合表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	整地(施工パッケージ)	残土受入れ地での処理			
	アスファルト塊運搬費		m3	260	
	建設廃棄物受入れ料金		m3	24	
	表層工・人力施工(車道・路肩)	仕上り厚 5cm 再生密粒度アスコン(13) 締め固め後密度 2350kg/m3	m3	24	
	表層工・人力施工(車道・路肩)	仕上り厚 3cm 再生密粒度アスコン(13) 締め固め後密度 2350kg/m3	m2	238	
	インターロッキングブロック設置工(市場単価)	直線配置 厚6cm	m2	10	
	路盤工 機械	上層路盤 施工厚= 15 cm 粒度調整砕石 1.8m未満	m2	28	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 15 cm R C - 40 再生材 1.8m未満	m2	238	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 16 cm R C - 40 再生材 1.8m未満	m2	238	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 10 cm R C - 40 再生材 1.8m未満	m2	10	
	区画線工(溶融式・手動)(標準単価)	実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白	m2	28	
	区画線工(溶融式・手動)(標準単価)	実線 幅 45cm 1.5mm (標準) 白	m	360	
2工区			m	10	
2工区					
2工区(資材)本設					

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	ポリエチレン管 (融着接合管) φ 75mm	EF受口付直管	本	27	
	不断水T字管 (DC I P用・バルブ付) φ 75mm × φ 75mm	フランジ接合材1組合む	個	1	
	不断水T字管 (EF用・バルブ付) φ 150mm × φ 75mm	フランジ接合材1組合む	個	1	
	不断水仕切弁 φ 75	鑄鉄管用	基	1	
	フランジ短管 (G型) φ 75mm		個	2	
	ソフトシール弁 (EF管対応型) φ 75mm		個	1	
	仕切弁 (FCD製) φ 50mm	フランジ接合材2組合む	個	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 鉄蓋 情報5項目取付式	H=150 JWWA B 132	組	5	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 調整リンド	H=50 JWWA K 148 PR25 (K)	個	7	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 上部壁	H=150 JWWA K 148 RA25 (A)	個	5	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 中部壁	H=200 JWWA K 148 RB25 (B)	個	6	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 下部壁	H=300 JWWA K 148 RC25 (C)	個	5	
	仕切弁ボックス (日本協円形 1号) 底版	H=40 JWWA K 148 RS25 (S)	組	5	
	EF片受バンド φ 75mm × 90°		個	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	EFソケットφ75		個	3	
	E F キ ャ ッ プ φ 75mm		個	1	
	鑄鉄管メカニカルジョイント型帽φ75mm	K型 FCD製 特押付	個	1	
	MF ジョ イント 離脱防止付 φ 50mm		個	2	
	管表示デーンブ 埋設タイプ	150mm	m	142.7	
	管路識別マーカーク杭		個	2	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ 50mm	外径60.0mm 肉厚8.0mm 重量1216g/m	m	5	
	ポリジョイント (エルボ) φ 50mm	耐震型・ワンタッチ式	個	2	
	EF管用ドリル分水栓φ75mm×φ50mm	耐震型 (PPエポキシリソット・メタルパッキン含む)	個	1	
2工区 (労務) 本設					
	ポリエチレン管据付工	径75mm	m	133.7	
	ポリエチレン管据付工	径50mm	m	5	
	ポリエチレン管切断工	径75mm	口	3	
	不連続水連絡工 (管据付含む)	φ 75 × φ 75	箇所	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	不断水連絡工 (筐据付含む)	φ 150×φ 75	箇所	1	
	不断水仕切弁設置工 (筐据付含む)	φ 75	箇所	1	
	仕切弁設置工 (筐据付含む)	φ 75 H=900mm	箇所	1	
	仕切弁設置工 (筐据付含む)	φ 50 H=900mm	箇所	1	
	ポリエチレン管継手工	径75mm 融着継手をする	箇所	35	
	メカニカル継手工	径75mm メカニカル継手をする	口	2	
	メカニカル特殊継手工 (30%増)	径75mm以下	口	1	
	フランジ継手工	径75 (80) mm JWWA 7.5K (0.74MPa)	口	2	
	フランジ継手工	径65mm以下 JWWA 7.5K (0.74MPa)	口	2	
	ポリエチレンパイプ被覆工	径75mm 固定用ゴッドバンド	m	133.7	
	明示テープ布設工		m	142.7	
	ポリエチレン管継手工	径50mm 融着継手としない	口	5	
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 75mm 給水管呼び径 50mm ポリエチレン管	箇所	1	
	メカニカル継手取外し工 (補正係数)	径75mm以下 K形	口	2	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	消火栓筐再使用撤去	H=640mm	箇所	1	
	仕切弁筐再使用撤去	H=940mm	箇所	1	
	廃プラ処分費		kg	51	
2工区（土工）本設					
	舗装版切断(施工パックージ)	アスファルト舗装版 15cm以下	m	149	
	汚泥運搬・処分工		m3	0.3	
	舗装版直接掘削・積込工		m2	75	
	インターlockingブロック撤去工（市場単価）	再使用目的（6, 8cm）	m2	4	
	管路掘削工（バックホウ掘削積込）	砂・砂質土	m3	80	
	管路埋戻工（機械埋戻）	RC-40	m3	20	
	管路埋戻工（機械埋戻）	クッション用砂	m3	40	
	発生土運搬費	砂・砂質土 8 km	m3	80	
	整地(施工パックージ)	残土受入れ地での処理	m3	80	
	アスファルト塊運搬費		m3	8	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	建設廃棄物受入れ料金				
	表層工・人力施工 (車道・路肩)	仕上り厚 5cm 再生密粒度アスコン(13) 締め固め後密度 2350kg/m ³	m ³	8	
	インターロック型ブロック設置工 (市場単価)	直線配置 厚6cm	m ²	75	
	路盤工 機械	上層路盤 施工厚= 15 cm 粒度調整砕石 1.8m未満	m ²	4	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 15 cm R C-40 再生材 1.8m未満	m ²	75	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 10 cm R C-40 再生材 1.8m未満	m ²	75	
	区画線工 (溶融式・手動) (標準単価)	実線 幅 15cm 1.5mm (標準) 白	m	4	
	区画線工 (溶融式・手動) (標準単価)	実線 幅 45cm 1.5mm (標準) 白	m	130	
			m	4	
3工区					
3工区 (資材) 本設					
	ポリエチレンパイプ 1種 φ 50mm	外径60.0mm 肉厚8.0mm 重量1216g/m	m	68	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ 20mm	外径27.0mm 肉厚4.0mm 重量269g/m	m	115	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ 13mm	外径21.5mm 肉厚3.5mm 重量184g/m	m	175	
	ポリジョイント (ソケット) φ 50mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	ポリジョイント (P Vソケット) φ20mm	耐震型・ワンタッチ式	個	2	
	ポリジョイント (P Vソケット) φ13mm	耐震型・ワンタッチ式	個	3	
	ポリジョイント (エルボ) φ20mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	ポリジョイント (エルボ) φ13mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	P Vエルボ φ13mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	ソフトシール弁 (浅層埋設用) φ50mm	フランジ'接合材2組合む	個	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形1号) 鉄蓋 情報5項目取付式	H=150 JWWA B 132	組	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形1号) 調整リンド	H=50 JWWA K 148 PR25 (K)	個	2	
	仕切弁ボックス (日本協円形1号) 上部壁	H=150 JWWA K 148 RA25 (A)	個	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形1号) 下部壁	H=300 JWWA K 148 RC25 (C)	個	1	
	仕切弁ボックス (日本協円形1号) 底版	H=40 JWWA K 148 RS25 (S)	組	1	
	MFジョイント 離脱防止付 φ50mm		個	2	
	PP管用ト'ル分水栓 φ50mm×φ20mm	耐震型 (PPエポキシグット・メタル'ッキン含む)	個	1	
	PP管用ト'ル分水栓 φ50mm×φ13mm	耐震型 (PPエポキシグット・メタル'ッキン含む)	個	4	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	EF管用ドール分水栓φ150mm×φ50mm	耐震型 (PPエポキシコート・メタルパッキン含む)	個	1	
	砲金製サドル分水栓用キヤップφ50mm		個	1	
	管表示デーン 埋設タイプ	150mm	m	97	
	管路識別マーカーク杭		個	6	
3工区 (労務) 本設					
	ポリエチレン管据付工	径50mm	m	68	
	ポリエチレン管据付工	径20mm	m	115	
	ポリエチレン管据付工	径13mm	m	175	
	ポリエチレン管継手工	径50mm 融着継手としない	口	3	
	ポリエチレン管継手工	径20mm 融着継手としない	口	6	
	ポリエチレン管継手工	径13mm 融着継手としない	口	10	
	仕切弁設置工 (筐据付含む)	φ50 H=900mm	箇所	1	
	メカニカル継手工	径50mm メカニカル継手をする	口	2	
	フランジ継手工	径65mm以下 JWWA 7.5K (0.74MPa)	口	2	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 50mm 給水管呼び径 20mm ポリエチレン管	箇所	1	
	サドル分水栓建込み工	ポリエチレン管, 本管呼び径 50mm, 給水管呼び径 13mm	箇所	4	
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 150mm 給水管呼び径 50mm ポリエチレン管	箇所	1	
	明示テープ布設工		m	97	
3工区 (土工) 本設					
	舗装版切断(施工パッケージ)	アスファルト舗装版 15cm以下	m	200	
	汚泥運搬・処分工		m3	0.2	
	舗装版直接掘削・積込工		m2	54	
	管路掘削工 (バックホウ掘削積込)	砂・砂質土	m3	50	
	管路埋戻工 (機械埋戻)	RC-40	m3	20	
	管路埋戻工 (機械埋戻)	クッション用砂	m3	20	
	発生土運搬費	砂・砂質土 8 km	m3	50	
	整地(施工パッケージ)	残土受入れ地での処理	m3	50	
	アスファルト塊運搬費		m3	2	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	建設廃棄物受入れ料金				
	表層工・人力施工（車道・路肩）	仕上り厚 3cm 再生密粒度アスコン(13) 締め固め後密度 2350kg/m ³	m ³	2	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 16 cm R C-40 再生材 1.8m未満	m ²	54	
4工区					
4工区（資材）本設					
	ポリエチレンパイプ 1種 φ50mm	外径60.0mm 肉厚8.0mm 重量1216g/m	m	40	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ20mm	外径27.0mm 肉厚4.0mm 重量269g/m	m	25	
	ポリエチレンパイプ 1種 φ13mm	外径21.5mm 肉厚3.5mm 重量184g/m	m	25	
	ポリジョイント（ソケット）φ50mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	ポリジョイント（P Vソケット）φ20mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	ポリジョイント（P Vソケット）φ13mm	耐震型・ワンタッチ式	個	1	
	ポリジョイント（エルボ）φ50mm	耐震型・ワンタッチ式	個	3	
	仕切弁（FCD製）φ50mm	フランジ接合材2組含む	個	1	
	仕切弁ボックス（日本協円形1号） 鉄蓋 情報5項目取付式	H=150 JWWA B 132	個	1	
			組	1	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明 細	規 格	単 位	数 量	摘 要
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）調整リング	H=50 JWWA K 148 PR25 (K)	個	2	
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）上部壁	H=150 JWWA K 148 RA25 (A)	個	1	
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）下部壁	H=300 JWWA K 148 RC25 (C)	個	1	
	仕切弁ボックス（日本協円形1号）底版	H=40 JWWA K 148 RS25 (S)	組	1	
	MF ジョイント 離脱防止付 φ50mm		個	2	
	PP管用トリプル分水栓 φ50mm×φ13mm	耐震型 (PPエポキシリキャスト・メタルパッキン含む)	個	1	
	PP管用トリプル分水栓 φ50mm×φ20mm	耐震型 (PPエポキシリキャスト・メタルパッキン含む)	個	1	
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm	m	45	
	管路識別マーカーク杭		個	2	
4工区（労務）本設					
	ポリエチレン管据付工	径50mm	m	40	
	ポリエチレン管据付工	径20mm	m	25	
	ポリエチレン管据付工	径13mm	m	25	
	ポリエチレン管継手工	径50mm 融着継手としない	口	8	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	ポリエチレン管継手工	径20mm 融着継手としない	口	3	
	ポリエチレン管継手工	径13mm 融着継手としない	口	7	
	仕切弁設置工 (筐据付含む)	φ50 H=900mm	箇所	1	
	メカニカル継手工	径50mm メカニカル継手をする	口	2	
	フランジ継手工	径65mm以下 JWWA 7.5K (0.74MPa)	口	2	
	サドル分水栓建込み工	本管呼び径 50mm 給水管呼び径 20mm ポリエチレン管	箇所	1	
	サドル分水栓建込み工	ポリエチレン管, 本管呼び径 50mm, 給水管呼び径 13mm	箇所	1	
	明示テープ布設工		m	45	
4工区 (土工) 本設					
	舗装版切断(施工バ ッカージ)	アスファルト舗装版 15cm以下	m	90	
	汚泥運搬・処分工		m3	0.1	
	舗装版直接掘削・積込工		m2	25	
	管路掘削工 (バックホウ掘削積込)	砂・砂質土	m3	20	
	管路埋戻工 (機械埋戻)	RC-40	m3	10	

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
	管路埋戻工（機械埋戻）	クッション用砂	m3	10	
	発生土運搬費	砂・砂質土 8 km	m3	20	
	整地（施工パッケージ）	残土受入れ地での処理	m3	20	
	アスファルト塊運搬費		m3	1	
	建設廃棄物受入れ料金		m3	1	
	表層工・人力施工（車道・路肩）	仕上り厚 3cm 再生密粒度アスコン(13) 締め固め後密度 2350kg/m3	m2	25	
	路盤工 機械	下層路盤 施工厚= 16 cm R C-40 再生材 1.8m未満	m2	25	
全工種共通（仮設工）					
仮設工					
交通管理工					
	交通誘導警備員費		式	1	
02: 消火栓					
消火栓					
消火栓					

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
資材	PE差口付鉄製T字管 (G型) $\phi 75\text{mm} \times \phi 75\text{mm}$				
	地下式消火栓・単口 (浅層埋設対応) $\phi 75\text{mm} \times \phi 65\text{mm}$	耐震補修弁フランジ補強パッキン・ボルト付	個	2	
	消火栓・空気弁用角型鉄蓋・受枠	35×45型 CTC350×450同等品以上	基	2	
	消火栓・空気弁レジンボックスA	A450×350-200 (H=200) CTC350×450同等品	組	2	
	消火栓・空気弁レジンボックスC	C450×350-200 (H=200) CTC350×450同等品	個	2	
	消火栓・空気弁レジンスラブS	S680×200-40 (H=40) CTC350×450同等品	個	2	
	ダクタイル鉄管 フランジ短管	$\phi 75$, L=150, RF-6F, 内面エポキシ樹脂粉体 7.5K	個	2	
	EFソケット $\phi 75$		本	2	
			個	2	
労務	消火栓設置工	$\phi 75\text{mm}$ 筐設置含む	箇所	2	
	ポリエチレン管継手工	径75mm 融着継手をする	箇所	4	
間接工事費					
共通仮設費					

数量総括表

工事区分、工種、種別、細別	明細	規格	単位	数量	摘要
スクラップ評価額					
	鉄スクラップ		kg	27.6	

1工区 HPE φ 75,PP φ 50,30,20,13 資材(本設)

名 称	規格	略 図 及 び 算 式	数 量	単位
【資材】				
EF受口付直管	φ 75	直管 76 + 切管 3	79	本
不断水T字管	DIP管用 φ 75×φ 75	1	1	個
	HPE管用 φ 150×φ 75	1	1	個
フランジ'短管	φ 75	2	2	個
ソフトシール仕切弁	右締め φ 75	2	2	個
FCD製仕切弁	右締め φ 50	1	1	個
仕切弁筐	鉄蓋 JWWA B 132	不断水 2 + 3	5	組
	調整リング PR25 (K)	2 + 6	8	個
	上部壁 RA25 (A)	2 + 3	5	個
	中部壁 RB25 (B)	4 +	4	個
	下部壁 RC25 (C)	2 + 3	5	個
	底版 RS25 (S)	2 + 3	5	組
EFソケット	φ 75	6	6	個
EFキャップ	φ 75	1	1	個
MFジョイント	SUSコア付 φ 50	2	2	個
管帽	VP管用 φ 75	1	1	個
PE挿し口 鋳鉄製T字管	G型 φ 75×φ 75	1	1	個
急速空気弁 φ 25	耐震補修弁付 フランジ'補強具付	1	1	個
空気弁筐	蓋枠 450×350-200	1	1	個
	A部材 450×350-200	1	1	個
	C部材 450×350-200	1	1	個
	スラブ 680×200-40	1	1	個
鋳鉄製フランジ'短管	φ 75×150mm	1	1	本
明示テープ	アルタン無し	φ 75 394.58 + φ 50 6.50 + 給水管 95.00	496.1	m
マーカー杭		19	19	個
ポリエチレン管	φ 13	64.5	64.5	m
	φ 20	26.0	26.0	m
	φ 30	4.5	4.5	m
	φ 50	7.0	7.0	m
PPエルボ	φ 13	1	1	個
	φ 50	2	2	個
PPソケット	φ 50	1	1	個
	φ 20×φ 13	1	1	個
PVソケット	φ 13	14	14	個
	φ 20	1	1	個
	φ 30	1	1	個
EF管用サドル分水栓	φ 75×φ 13	14	14	個
	φ 75×φ 20	2	2	個
	φ 75×φ 30	1	1	個
	φ 75×φ 50	2	2	個

[illegible]

III-X

[illegible]

無異管司

[illegible]

[illegible]

[illegible]

1工区(本設) 土工数量計算										
名 称	形 状 寸 法									要 摘
土工	車道(市道みどり線)	①HPE φ 75	②PP φ 50	③PP φ 30	④PP φ 20	⑤PP φ 13	⑥管帽	単位	数 量	
舗装切断工	As, t=15cm以下	439.0	+	7.0	+	3.0	+	12.0	+	4.0
舗装版取り壊し工	As, t=10cm以下	219.5	+	1.9	+	0.8	+	3.3	+	1.0
掘削工	砂質土	215.5	+	1.9	+	0.6	+	2.2	+	7.8
埋め戻し工	RC-40	55.9	+	0.5	+		+		+	0.6
	砂	103.7	+	0.9	+	0.4	+	1.4	+	4.8
残土処分	砂質土	215.5	+	1.9	+	0.6	+	2.2	+	7.8
整地工		215.5	+	1.9	+	0.6	+	2.2	+	7.8
残塊処理	As	22.0	+	0.19	+	0.08	+	0.33	+	1.16
残塊処分費	As	22.0	+	0.19	+	0.08	+	0.33	+	1.16
表層工	再生As, t=5cm	219.5	+	1.9	+	0.8	+	3.3	+	11.6
上層路盤工	M-30, t=15cm	219.5	+	1.9	+	0.8	+	3.3	+	11.6
下層路盤工	RC-40, t=15cm	219.5	+	1.9	+	0.8	+	3.3	+	11.6
汚泥運搬・処分工		発生量 0.023 t/m × 0.10 m × 507.0 = 1.17								m³

[illegible]

土 工 数 量 表

①1工区HPE φ 75布設工数量計算

管天(H)= 0.90 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.090 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.8 + 0.090 + 0.1) = 0.54 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

砕石埋戻= 0.55 × (0.85 - 0.3 - 0.3) = 0.14 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.490 - 0.0064 = 0.26 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

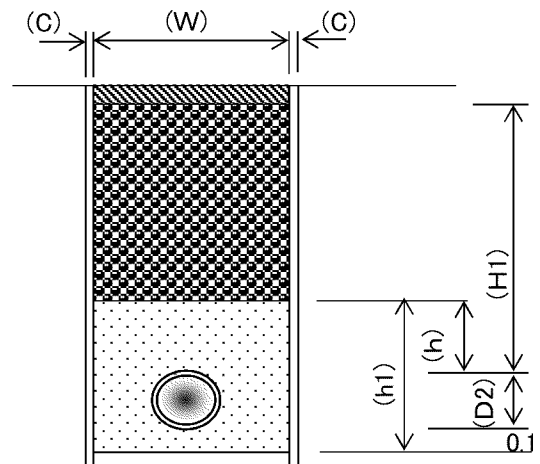
残土処分= 0.54 - ÷ 0.9 = 0.54 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HPE φ 75	90.0	0.55
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.55
10	HPE φ 150	180.0	0.55
11	DCIP(GX) φ 200	250.0	0.60
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.70
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.70
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	7	管外径	90
W:	7	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

②1工区PPφ50布設工数量計算

管天(H)= 0.90 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径(D2)} \quad 0.060 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 0.55 \times (0.8 + 0.060 + 0.1) = 0.53 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.85 - 0.3 - 0.3) = 0.14 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.460 - 0.0028 = 0.25 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

$$\text{流用土埋戻} = \times (- -) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

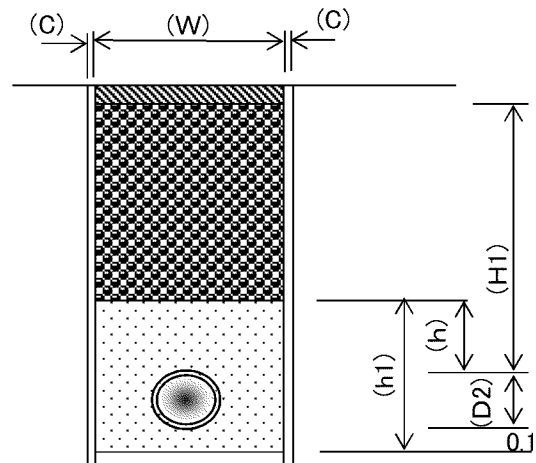
$$\text{残土処分} = 0.53 - \div 0.9 = 0.53 \quad \text{m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

③1工区PPφ30布設工数量計算

管天(H1)= 0.65 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径(D2)} \quad 0.042 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 0.55 \times (0.55 + 0.042 + 0.1) = 0.38 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.60 - 0.3 - 0.3) = \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.442 - 0.0014 = 0.24 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 碎石

$$\text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

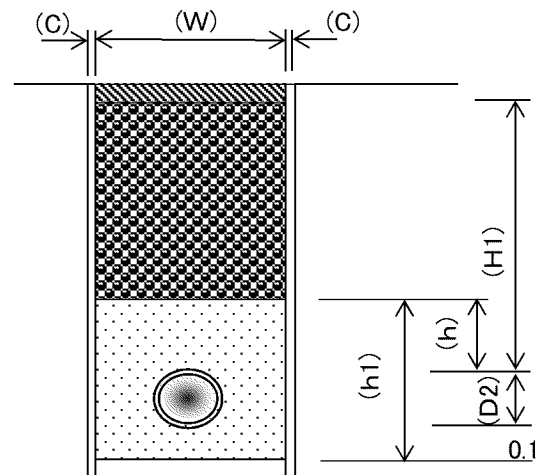
$$\text{残土処分} = 0.38 - \quad \div \quad 0.9 = 0.38 \quad \text{m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	4	管外径	42
W:	4	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

④1工区PPφ20布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径(D2)} \quad 0.027 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 0.55 \times (0.55 + 0.027 + 0.1) = 0.37 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.60 - 0.3 - 0.3) = \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.427 - 0.0006 = 0.23 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 碎石

$$\text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

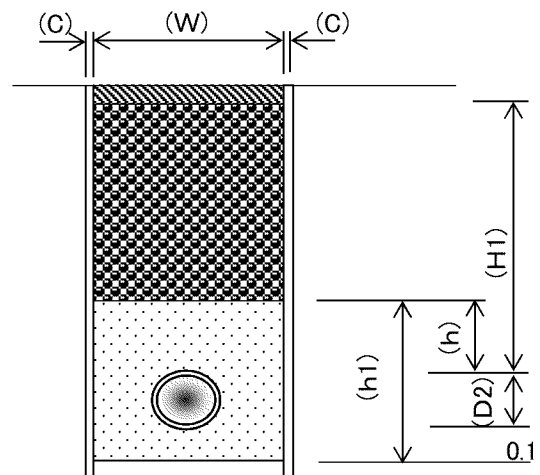
$$\text{残土処理} = 0.37 - \quad \div 0.9 = 0.37 \quad \text{m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.50
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	2	管外径	27
W:	2	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

⑤1工区PPφ13布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径 (D2)} \quad 0.022 \quad \text{掘削幅 (W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 0.55 \times (0.55 + 0.0215 + 0.1) = 0.37 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.60 - 0.3 - 0.3) = \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.4215 - 0.0004 = 0.23 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 碎石

$$\text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

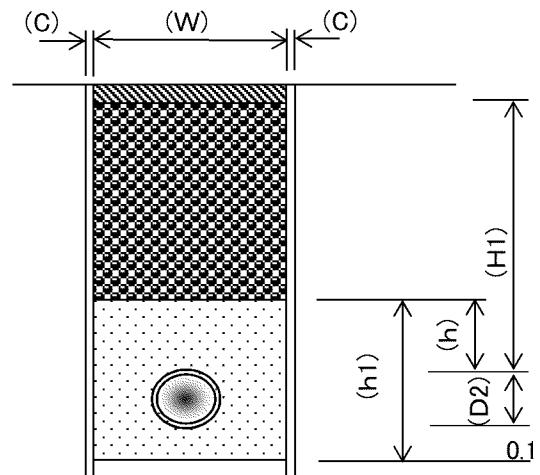
$$\text{残土処理} = 0.37 - \quad \div \quad 0.9 = 0.37 \quad \text{m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.50
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	1	管外径	21.5
W:	1	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

⑥1工区管帽設置工数量計算

管天(H)= 1.20 m

車道(市道みどり線)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径(D2)} \quad 0.089 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 1.00 \quad + \quad = \quad 1.00 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 1.00 \times (1.10 + 0.089 + 0.1) = 1.29 \text{ m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 1.00 \times (1.15 - 0.3 - 0.3) = 0.55 \text{ m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 1.00 \times 0.489 - 0.0062 = 0.48 \text{ m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 碎石

$$\text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

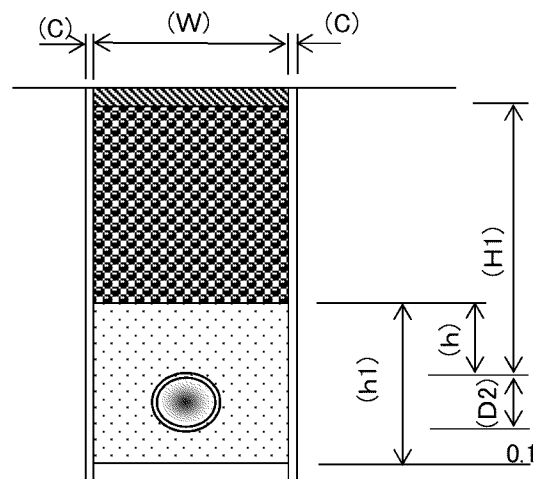
$$\text{残土処理} = 1.29 - \quad \div 0.9 = 1.29 \text{ m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HIVP φ 75	89.0	1.00
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125mm	143.0	0.65
10	EF φ 150mm	180.0	0.50
11	DCIP(GX) φ 200mm	220.0	0.75
12	DCIP(GX) φ 250mm	271.6	0.80
13	DCIP(GX) φ 300mm	322.8	2.40
14	DCIP(GX) φ 350mm	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400mm	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450mm	476.8	1.00

D2:	7	管外径	89
W:	7	掘削幅	1



1工区(本設) 土工数量計算						
名 称	形 状 寸 法				単位	数 量 摘 要
土工	車道(市道みどり線以外)	①PPφ20 ②PPφ13				
舗装切断工	As, t=15cm以下	34.0	+	3.0	m	37.0
舗装版取り壊し工	As, t=10cm以下	9.4	+	0.8	m ²	10.2
掘削工	砂質土	7.0	+	0.6	m ³	7.6
埋め戻し工	RC-40	1.5	+	0.1	m ³	1.6
	砂	3.9	+	0.3	m ³	4.2
残土処分	砂質土	7.0	+	0.6	m ³	7.6
整地工		7.0	+	0.6	m ³	7.6
残塊処理	As	0.38	+	0.03	m ³	0.41
残塊処分費	As	0.38	+	0.03	m ³	0.41
表層工	再生As, t=3cm	9.4	+	0.8	m ²	10.2
路盤工	RC-40, t=16cm	9.4	+	0.8	m ²	10.2
汚泥運搬・処分工		発生量 0.023 t/m × 0.04 m × 37.0 = 0.03			m ³	0.03

土 工 数 量 表

①1工区PPφ20布設工数量計算

管天(H1)= 0.65 m

車道(市道みどり線以外)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.027 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.61 + 0.027 + 0.1) = 0.41 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

砕石埋戻= 0.55 × (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.427 - 0.0006 = 0.23 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

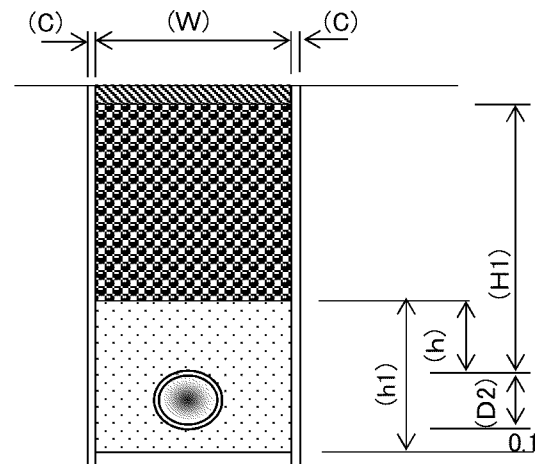
残土処分= 0.41 - ÷ 0.9 = 0.41 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.55
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	250.0	0.60
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.70
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.70
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	2	管外径	27
W:	2	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

②1工区PPφ13布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

車道(市道みどり線以外)

掘削幅(W)

矢板厚(C)

$$\text{管外径(D2)} \quad 0.022 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m}$$

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$\text{掘削土量} = 0.55 \times (0.61 + 0.022 + 0.1) = 0.40 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$\text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$\text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.422 - 0.0004 = 0.23 \quad \text{m}^3$$

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

$$\text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3$$

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

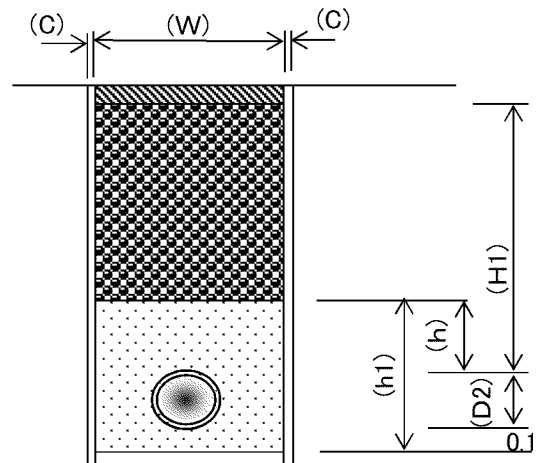
$$\text{残土処分} = 0.40 - \quad \div \quad 0.9 = 0.40 \quad \text{m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	1	管外径	21.5
W:	1	掘削幅	0.55



1工区(本設) 土工数量計算												
名 称	形 状 寸 法	①PP φ 50	②PP φ 30	③PP φ 20	④PP φ 13	単位	数	量	摘 要			
土工	歩道											
インターロッキング撤去工	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.7	+	23.1	m ² 28.2			
掘削工	砂質土	1.6	+	1.2	+	1.1	+	15.5	m ³ 19.4			
埋め戻し工	RC-40	0.7	+	0.3	+	0.3	+	3.8	m ³ 5.1			
	砂	0.8	+	0.7	+	0.7	+	9.7	m ³ 11.9			
残土処分	砂質土	1.6	+	1.2	+	1.1	+	15.5	m ³ 19.4			
整地工		1.6	+	1.2	+	1.1	+	15.5	m ³ 19.4			
インターロッキング設置工	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.7	+	23.1	m ² 28.2			
路盤工	RC-40, t=10cm	1.7	+	1.7	+	1.7	+	23.1	m ² 28.2			

土 工 数 量 表

①I工区PPφ50布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

歩道

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.060 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.81 + 0.060 + 0.1) = 0.53 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

砕石埋戻= 0.55 × (0.81 - 0.3 - 0.1) = 0.23 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.460 - 0.0028 = 0.25 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

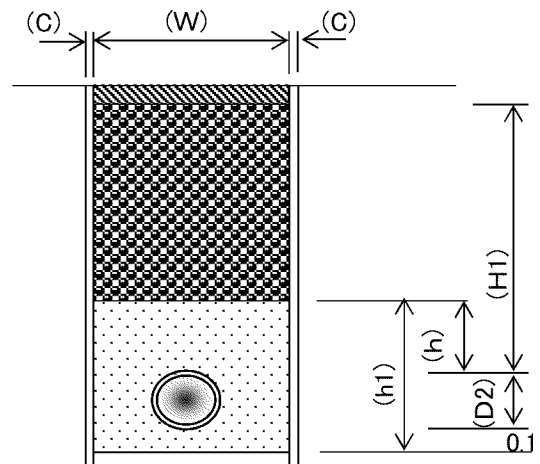
残土処分= 0.53 - ÷ 0.9 = 0.53 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.55
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	250.0	0.60
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.70
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.70
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

②1工区PPφ30布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

歩道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.042 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削土量 = $0.55 \times (0.56 + 0.042 + 0.1) = 0.39 \text{ m}^3$

碎石埋戻 = $0.55 \times (0.56 - 0.3 - 0.1) = 0.09 \text{ m}^3$

砂埋戻 = $0.55 \times 0.442 - 0.0014 = 0.24 \text{ m}^3$

流用土埋戻 = $\times (- -) = \text{m}^3$

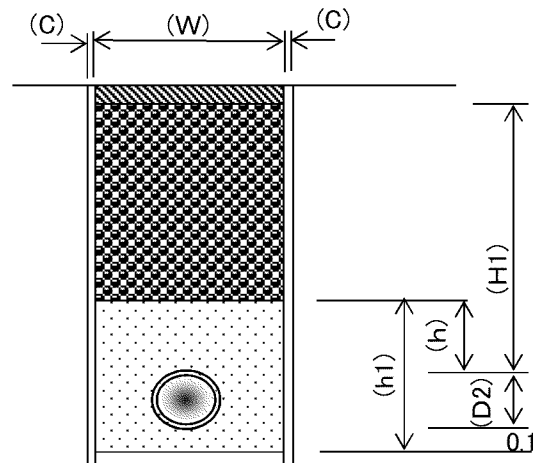
残土処分 = $0.39 - \div 0.9 = 0.39 \text{ m}^3$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	4	管外径	42
W:	4	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

③1工区PPφ20布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

歩道

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.027 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W)

管天(H1)

管外径

敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.56 + 0.027 + 0.1) = 0.38 m³

掘削幅(W)

管天(H1)

砂埋戻厚(h)

路盤

碎石埋戻= 0.55 × (0.56 - 0.3 - 0.1) = 0.09 m³

掘削幅(W)

砂埋戻厚(h1)

管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.427 - 0.0006 = 0.23 m³

掘削幅(W)

管天(H1)

砂埋戻厚(h)

碎石

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量

流用土埋戻し

土砂変化率

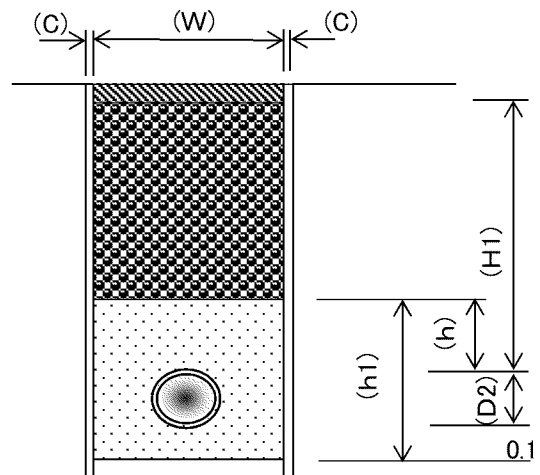
残土処分= 0.38 - ÷ 0.9 = 0.38 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	2	管外径	27
W:	2	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

④1工区PPφ13布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

歩道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.022 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削土量 = 掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$0.55 \times (0.56 + 0.0215 + 0.1) = 0.37 \text{ m}^3$$

碎石埋戻 = 掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$0.55 \times (0.56 - 0.3 - 0.1) = 0.09 \text{ m}^3$$

砂埋戻 = 掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$0.55 \times 0.422 - 0.0004 = 0.23 \text{ m}^3$$

流用土埋戻 = 掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

$$0.37 - \text{流用土埋戻し} \div 0.9 = \text{流用土埋戻し} \text{ m}^3$$

残土処理 = 掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

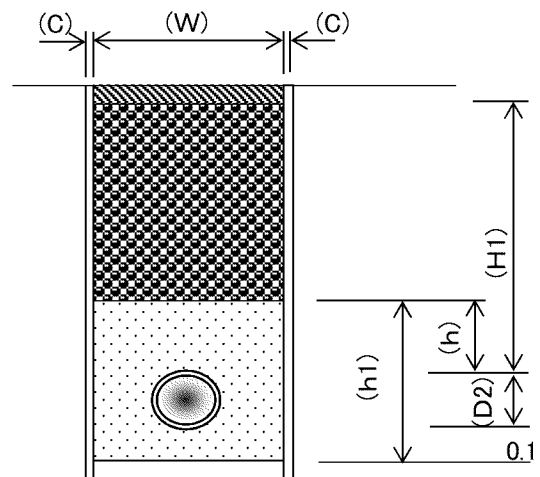
$$0.37 - \text{流用土埋戻し} \div 0.9 = 0.37 \text{ m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13mm	21.5	0.55
2	PPφ20mm	27.0	0.55
3	PPφ25mm	34.0	0.55
4	PPφ30mm	42.0	0.55
5	PPφ40mm	48.0	0.55
6	PPφ50mm	60.0	0.55
7	EFφ75mm	89.0	0.55
8	EFφ100mm	125.0	0.55
9	DCIPφ125mm	143.0	0.65
10	EFφ150mm	180.0	0.50
11	DCIP(GX)φ200mm	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250mm	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300mm	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350mm	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400mm	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450mm	476.8	1.00

D2:	1	管外径	21.5
W:	1	掘削幅	0.55



[illegible]

21区

[illegible]

冊
圖
管
司

[illegible]

[illegible]

2工区(本設) 土工数量計算							要 摘
名 称	形 状 寸 法				単位	数 量	
土工	歩道	①HPE φ 75	②PP φ 50	③管帽			
インターロッキング撤去工							
	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		
掘削工	砂質土	1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
埋め戻し工	RC-40	0.7	+	0.7	+	0.7	2.1
	砂	0.8	+	0.8	+	0.5	2.1
残土処分	砂質土	1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
整地工		1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
					m ³		
インターロッキング設置工	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		
路盤工	RC-40, t=10cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		

[illegible]

2工区(本設) 土工数量計算						
名 称	形 状 寸 法				単位	数 量 摘 要
土工	車道	①HPE φ 75	②PP φ 50	③EFキャップ		
舗装切断工	As, t=15cm以下	141.5	+	3.0	+	4.0
舗装版取り壊し工	As, t=10cm以下	74.0	+	0.8	+	0.6
掘削工	砂質土	72.6	+	0.8	+	0.7
埋め戻し工	RC-40	18.8	+	0.2	+	
	砂	35.0	+	0.4	+	0.3
残土処分	砂質土	72.6	+	0.8	+	0.7
整地工		72.6	+	0.8	+	0.7
残塊処理	As	7.4	+	0.08	+	0.06
残塊処分費	As	7.4	+	0.08	+	0.06
表層工	再生As, t=5cm	74.0	+	0.8	+	0.6
上層路盤工	M-30, t=15cm	74.0	+	0.8	+	0.6
下層路盤工	RC-40, t=15cm	74.0	+	0.8	+	0.6
汚泥運搬・処分工		発生量 0.023 t/m × 0.10 m × 舗装版切断延長 148.5 = 0.34			m ³	0.34

土 工 数 量 表

①2工区HPE φ 75布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

車道

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.090 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.8 + 0.090 + 0.1) = 0.54 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

碎石埋戻= 0.55 × (0.85 - 0.3 - 0.3) = 0.14 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.490 - 0.0064 = 0.26 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

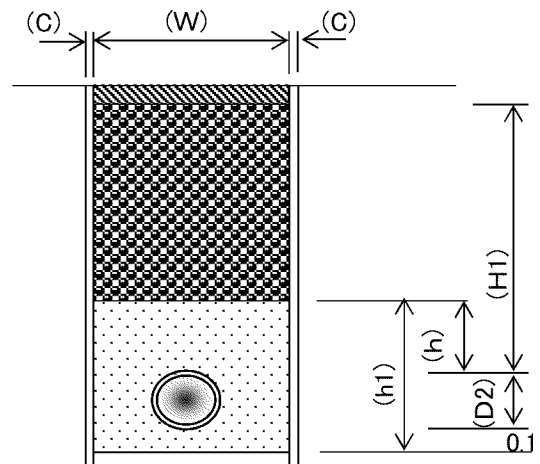
残土処分= 0.54 - ÷ 0.9 = 0.54 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HPE φ 75	90.0	0.55
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.55
10	HPE φ 150	180.0	0.55
11	DCIP(GX) φ 200	250.0	0.60
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.70
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.70
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	7	管外径	90
W:	7	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

②2工区PPφ50布設工数量計算

管天(H)= 0.90 m

車道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.060 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削土量 = 掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$0.55 \times (0.8 + 0.060 + 0.1) = 0.53 \text{ m}^3$$

砂埋戻 = 掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$0.55 \times (0.85 - 0.3 - 0.3) = 0.14 \text{ m}^3$$

砂埋戻 = 掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$0.55 \times 0.460 - 0.0028 = 0.25 \text{ m}^3$$

流用土埋戻 = 掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

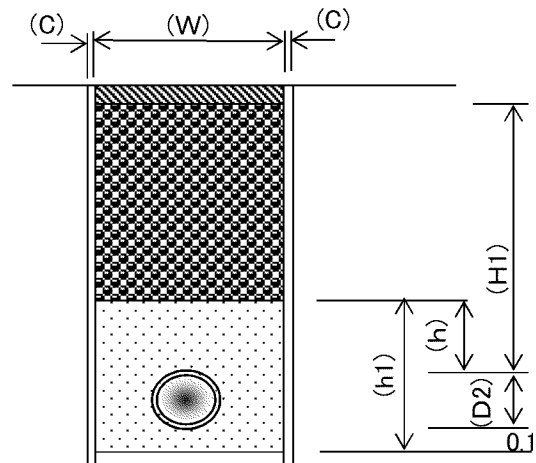
$$0.53 - \text{ } \div 0.9 = 0.53 \text{ m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

③2工区EFキャップ設置工数量計算

管天(H)= 1.20 m

車道

掘削幅(W)

矢板厚(C)

管外径(D2) 0.090 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (1.10 + 0.09 + 0.1) = 0.71 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

碎石埋戻= 0.55 × (1.15 - 0.3 - 0.3) = 0.30 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.490 - 0.0064 = 0.26 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 碎石

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

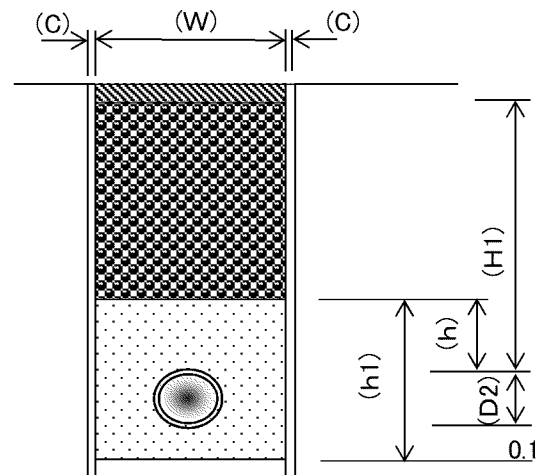
残土処分= 0.71 - ÷ 0.9 = 0.71 m³

※管天(H1)は、舗装厚扣除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HPE φ 75	90.0	0.55
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.65
10	HPE φ 150	180.0	0.55
11	DCIP(GX) φ 200	220.0	0.75
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.80
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.85
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	7	管外径	90
W:	7	掘削幅	0.55



2工区(本設) 土工数量計算							要 摘
名 称	形 状 寸 法				単位	数 量	
土工	歩道	①HPE φ 75	②PP φ 50	③管帽			
インターロッキング撤去工							
	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		
掘削工	砂質土	1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
埋め戻し工	RC-40	0.7	+	0.7	+	0.7	2.1
	砂	0.8	+	0.8	+	0.5	2.1
残土処分	砂質土	1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
整地工		1.7	+	1.6	+	1.3	4.6
					m ³		
インターロッキング設置工	再使用, t=6cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		
路盤工	RC-40, t=10cm	1.7	+	1.7	+	1.0	4.4
					m ²		

土 工 数 量 表

①2工区HPE φ 75布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

歩道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.090 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

掘削土量= 0.55 × (0.81 + 0.090 + 0.1) = 0.55 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

碎石埋戻= 0.55 × (0.81 - 0.3 - 0.1) = 0.23 m³

掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

砂埋戻= 0.55 × 0.490 - 0.0064 = 0.26 m³

掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h)

流用土埋戻= × (- -) = m³

掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

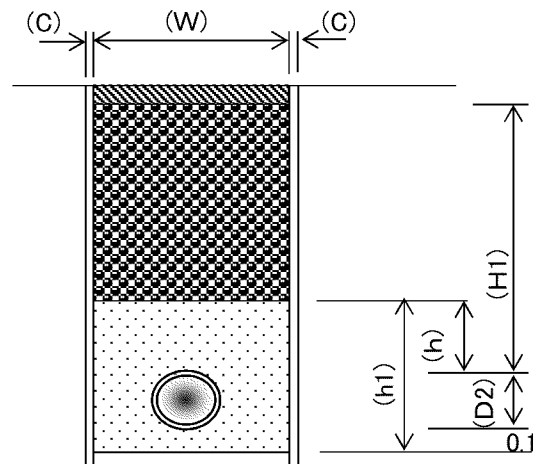
残土処分= 0.55 - ÷ 0.9 = 0.55 m³

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HPE φ 75	90.0	0.55
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.55
10	HPE φ 150	180.0	0.55
11	DCIP(GX) φ 200	250.0	0.60
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.70
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.70
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	7	管外径	90
W:	7	掘削幅	0.55



[illegible]

土 工 数 量 表

②2工区PPφ50布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

歩道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.060 掘削幅(W) 0.55 + = 0.55 m

掘削土量 = 掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$0.55 \times (0.81 + 0.060 + 0.1) = 0.53 \text{ m}^3$$

砕石埋戻 = 掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$0.55 \times (0.81 - 0.3 - 0.1) = 0.23 \text{ m}^3$$

砂埋戻 = 掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$0.55 \times 0.460 - 0.0028 = 0.25 \text{ m}^3$$

流用土埋戻 = 掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

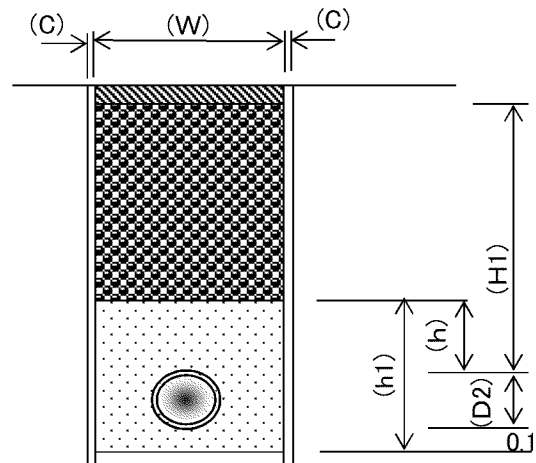
$$0.53 - \div 0.9 = 0.53 \text{ m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



歩道		延長(L)=	1.00	m	管天(H)=	1.20	m	既設舗装厚・舗装取壊厚t=	9	cm	管外径区分	7
名 称		形 状	寸 法	③2工区管帽設置工数量計算				仮舗装厚t=	9	cm	数 量	摘 要
インターロッキング撤去工												
掘削工		再使用, t=6cm		1.00 × 1.0	1.0				m ²		1.0	
埋め戻し工		砂質土		1.30 × 1.0	1.0				m ³		1.3	
		RC-40		0.71 × 1.0	1.0				m ³		0.7	
		砂		0.49 × 1.0	1.0				m ³		0.5	
残土処分		砂質土		1.30 × 1.0	1.0				m ³		1.3	
整地工									m ³		1.3	
									m ³			
インターロッキング設置工		再使用, t=6cm		1.00 × 1.0	1.0				m ²		1.0	
路盤工		RC-40, t=10cm		1.00 × 1.0	1.0				m ²		1.0	

土 工 数 量 表

③2工区管帽設置工数量計算

管天(H)= 1.20 m

歩道 掘削幅(W) 矢板厚(C)

管外径(D2) 0.093 掘削幅(W) 1.00 + = 1.00 m

掘削土量 = 掘削幅(W) 管天(H1) 管外径 敷砂

$$1.00 \times (1.11 + 0.093 + 0.1) = 1.30 \text{ m}^3$$

砕石埋戻 = 掘削幅(W) 管天(H1) 砂埋戻厚(h) 路盤

$$1.00 \times (1.11 - 0.3 - 0.1) = 0.71 \text{ m}^3$$

砂埋戻 = 掘削幅(W) 砂埋戻厚(h1) 管断面積

$$1.00 \times 0.493 - 0.0068 = 0.49 \text{ m}^3$$

流用土埋戻 = 掘削土量 流用土埋戻し 土砂変化率

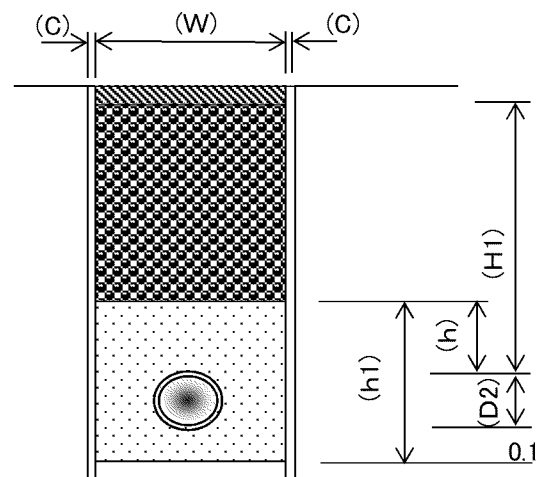
$$1.30 - \div 0.9 = 1.30 \text{ m}^3$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	DCIP φ 75	93.0	1.00
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.65
10	HPE φ 150	180.0	0.55
11	DCIP(GX) φ 200	220.0	0.75
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.80
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.85
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	7	管外径	93
W:	7	掘削幅	1



3工区 PPφ50,20,13 資材,労務(本設)

名 称	規格	略 図 及 び 算 式	数 量	単位
【資材】				
ポリエチレン管	φ 50	68.0	68.0	m
	φ 20	11.5	11.5	m
	φ 13	17.5	17.5	m
PPソケット	φ 50	1	1	個
PVソケット	φ 20	2	2	個
	φ 13	3	3	個
PPエルボ	φ 20	1	1	個
	φ 13	1	1	個
PVエルボ	φ 13	1	1	個
ソフトシール仕切弁	右締め φ 50	1	1	個
仕切弁筐	鉄蓋 JWWA B 132	1	1	個
	調整リング PR25(K)	2	2	個
	上部壁 RA25(A)	1	1	個
	下部壁 RC25(C)	1	1	個
	底版 RS25(S)	1	1	組
MFジョイント	SUSコア付 φ 50	2	2	個
PP管用サドル分水栓	φ 50×φ 20	1	1	個
	φ 50×φ 13	4	4	個
EF管用サドル分水栓	φ 150×φ 50	1	1	個
砲金製サドル分水栓キャップ	φ 50	1	1	個
明示テープ	アルタン無し	68.0 + 29.0 給水管	97.0	m
マーカーク杭		6	6	個
【労務】				
ポリエチレン管布設工	φ 50	68.0	68.0	m
	φ 20	11.5	11.5	m
	φ 13	17.5	17.5	m
PP継手工	φ 50	ソケット + 2 サドル + 1	3	口
	φ 20	エルボ + 2 ソケット + 4	6	口
	φ 13	エルボ + 4 ソケット + 6	10	口
仕切弁設置工	筐設置含む φ 50	1	1	箇所
メカニカル継手工	φ 50	MFジョイント 2	2	口
フランジ継手工	φ 65以下 PP管用	MFジョイント 2	2	口
分水栓取付工	φ 50×φ 20	1	1	箇所
	PP管用 φ 50×φ 13	4	4	箇所
	EF管用 φ 150×φ 50	1	1	箇所
明示テープ布設工		97.0	97.0	m

3工区(本設) 土工数量計算													単位	数	量	摘	要
名	称	形	状	寸	法	①PPφ50	②PPφ20	③PPφ13	④サドルキャップ								
土工						136.0	+	23.0	+	35.0	+	4.0		m	198.0		
舗装切断工		As, t=15cm以下				37.4	+	6.3	+	9.6	+	1.0		m ²	54.3		
舗装版取り壊し工		As, t=10cm以下															
掘削工		砂質土				38.1	+	4.7	+	7.0	+	1.4		m ³	51.2		
埋め戻し工		RC-40				15.6	+	1.0	+	1.6	+	0.7		m ³	18.9		
		砂				17.0	+	2.6	+	4.0	+	0.6		m ³	24.2		
残土処分		砂質土				38.1	+	4.7	+	7.0	+	1.4		m ³	51.2		
整地工						38.1	+	4.7	+	7.0	+	1.4		m ³	51.2		
残塊処理		As				1.50	+	0.25	+	0.38	+	0.04		m ³	2.17		
残塊処分費		As				1.50	+	0.25	+	0.38	+	0.04		m ³	2.17		
表層工		再生As, t=3cm				37.4	+	6.3	+	9.6	+	1.0		m ²	54.3		
路盤工		RC-40, t=16cm				37.4	+	6.3	+	9.6	+	1.0		m ²	54.3		
汚泥運搬・処分工						発生量 0.023 t/m	×	0.04 m	×	198.0	=	0.18	m ³	0.18			

土 工 数 量 表

①3工区PPφ50布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

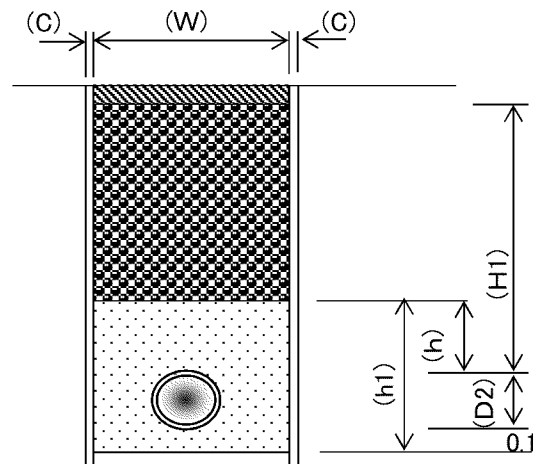
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.060 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} + \text{管外径} + \text{敷砂}) = 0.55 \times (0.86 + 0.060 + 0.1) = 0.56 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 0.55 \times (0.87 - 0.3 - 0.16) = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{砂埋戻厚(h1)} - \text{管断面積}) = 0.55 \times (0.460 - 0.0028) = 0.25 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削土量} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 0.56 \times (0.87 - 0.3 - 0.16) = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻} \div \text{土砂変化率} = 0.56 - 0.23 \div 0.9 = 0.56 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.55
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	250.0	0.60
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.70
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.70
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

②3工区PPφ20布設工数量計算

管天(H1)= 0.65 m

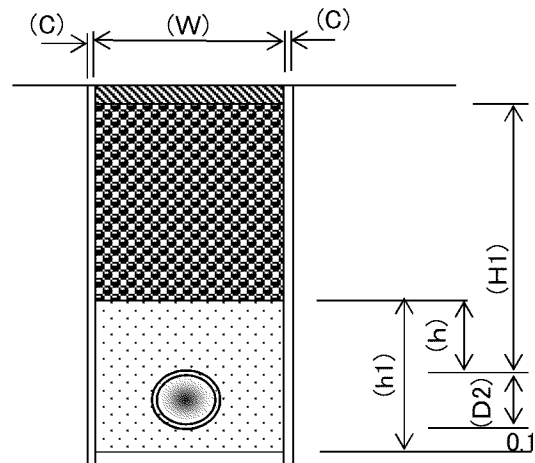
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.027 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} + \text{管外径} + \text{敷砂}) = 0.55 \times (0.61 + 0.027 + 0.1) = 0.41 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 0.55 \times (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{砂埋戻厚(h1)} - \text{管断面積}) = 0.55 \times (0.427 - 0.0006) = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)}) = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻し} \div \text{土砂変化率} = 0.41 - \quad \div 0.9 = 0.41 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	2	管外径	27
W:	2	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

③3工区PPφ13布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

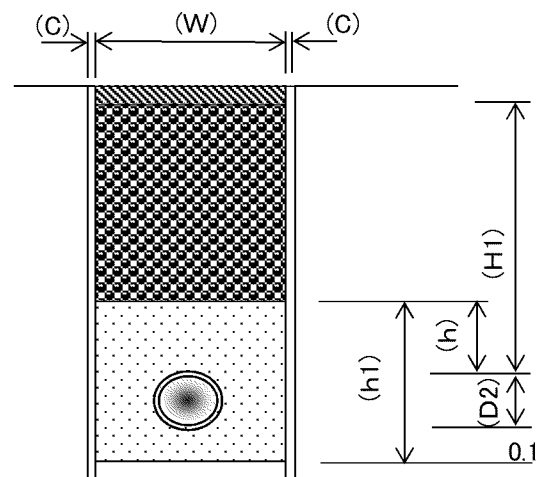
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.022 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} + \text{管外径} + \text{敷砂}) = 0.55 \times (0.61 + 0.0215 + 0.1) = 0.40 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 0.55 \times (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times \text{砂埋戻厚(h1)} - \text{管断面積} = 0.55 \times 0.422 - 0.0004 = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{碎石}) = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻} \div \text{土砂変化率} = 0.40 - \quad \div 0.9 = 0.40 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	1	管外径	21.5
W:	1	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

④3工区サドルキャップ設置工数量計算

管天(H)= 1.20 m

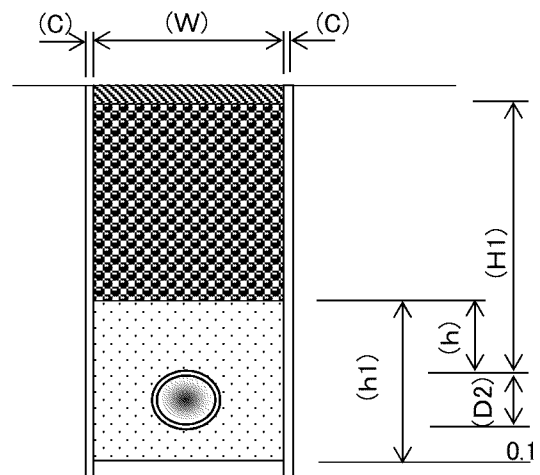
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.180 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 1.00 \quad + \quad = \quad 1.00 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} + \text{管外径} + \text{敷砂}) = 1.00 \times (1.16 + 0.18 + 0.1) = 1.44 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 1.00 \times (1.17 - 0.3 - 0.16) = 0.71 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{砂埋戻厚(h1)} - \text{管断面積}) = 1.00 \times (0.580 - 0.0254) = 0.55 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{碎石}) = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処理} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻し} \div \text{土砂変化率} = 1.44 - \quad \div 0.9 = 1.44 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PP φ 13	21.5	0.55
2	PP φ 20	27.0	0.55
3	PP φ 25	34.0	0.55
4	PP φ 30	42.0	0.55
5	PP φ 40	48.0	0.55
6	PP φ 50	60.0	0.55
7	HPE φ 75	90.0	0.55
8	HPE φ 100	125.0	0.55
9	DCIP φ 125	143.0	0.65
10	HPE φ 150	180.0	1.00
11	DCIP(GX) φ 200	220.0	0.75
12	DCIP(GX) φ 250	271.6	0.80
13	DCIP(GX) φ 300	322.8	0.85
14	DCIP(GX) φ 350	374.0	0.90
15	DCIP(GX) φ 400	425.6	0.95
16	DCIP(GX) φ 450	476.8	1.00

D2:	10	管外径	180
W:	10	掘削幅	1



4工区 PPφ50,20,13 資材,労務(本設)

名 称	規格	略 図 及 び 算 式	数 量	単位
【資材】				
ポリエチレン管	φ 50	40.0	40.0	m
	φ 20	2.5	2.5	m
	φ 13	2.5	2.5	m
PPソケット	φ 50	1	1	個
PVソケット	φ 20	1	1	個
	φ 13	1	1	個
PPエルボ	φ 50	3	3	個
FCD製仕切弁	右締め φ 50	1	1	個
仕切弁筐	JWWA B 132 調整リング PR25(K)	1	1	個
	上部壁 RA25(A)	2	2	個
	下部壁 RC25(C)	1	1	個
	底版 RS25(S)	1	1	組
MFジョイント	SUSコア付 φ 50	2	2	個
PP管用サドル分水栓	φ 50×φ 13	1	1	個
	φ 50×φ 20	1	1	個
明示テープ	アルタン無し	給水管 40.0 + 5.0	45.0	m
マーカーク杭		2	2	個
【労務】				
ポリエチレン管布設工	φ 50	40.0	40.0	m
	φ 20	2.5	2.5	m
	φ 13	2.5	2.5	m
PP継手工	φ 50	エルボ 6 + ソケット 2 +	8	口
	φ 20	エルボ + ソケット 2 + サドル 1	3	口
	φ 13	エルボ 4 + ソケット 2 + サドル 1	7	口
仕切弁設置工	筐設置含む φ 50	1	1	箇所
メカニカル継手工	φ 50	MFジョイント 2	2	口
フランジ継手工	φ 65以下	MFジョイント 2	2	口
分水栓取付工	PP管用 φ 50×φ 20	1	1	箇所
	PP管用 φ 50×φ 13	1	1	箇所
明示テープ布設工		45.0	45.0	m

4工区(本設) 土工数量計算							単位	数	量	摘	要
名	称	形	状	寸	法						
土工						①PPφ50 ②PPφ20 ③PPφ13					
舗装切断工		As, t=15cm以下				79.0 + 5.0 + 5.0	m	89.0			
舗装版取り壊し工		As, t=10cm以下				21.7 + 1.4 + 1.4	m ²	24.5			
掘削工		砂質土				22.1 + 1.0 + 1.0	m ³	24.1			
埋め戻し工		RC-40				9.1 + 0.2 + 0.2	m ³	9.5			
		砂				9.9 + 0.6 + 0.6	m ³	11.1			
残土処分		砂質土				22.1 + 1.0 + 1.0	m ³	24.1			
整地工						22.1 + 1.0 + 1.0	m ³	24.1			
残塊処理		As				0.87 + 0.06 + 0.06	m ³	0.99			
残塊処分費		As				0.87 + 0.06 + 0.06	m ³	0.99			
表層工		再生As, t=3cm				21.7 + 1.4 + 1.4	m ²	24.5			
路盤工		RC-40, t=16cm				21.7 + 1.4 + 1.4	m ²	24.5			
汚泥運搬・処分工						発生量 舗装版切断深さ 舗装版切断延長 0.023 t/m × 0.04 m × 89.0 = 0.08	m ³	0.08			

土 工 数 量 表

①4工区PPφ50布設工数量計算

管天(H1)= 0.90 m

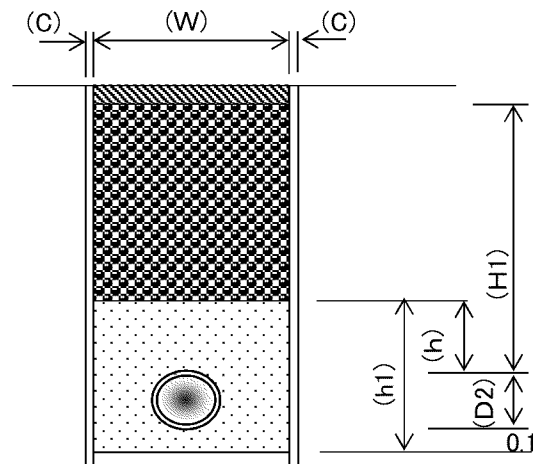
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.060 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} + \text{管外径} + \text{敷砂}) = 0.55 \times (0.86 + 0.060 + 0.1) = 0.56 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h)} - \text{路盤}) = 0.55 \times (0.87 - 0.3 - 0.16) = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \times (\text{管天(H1)} - \text{砂埋戻厚(h1)} - \text{管断面積}) = 0.55 \times (0.460 - 0.0028) = 0.25 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻し} = 0.56 - 0.25 = 0.31 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = \text{掘削土量} - \text{流用土埋戻し} - \text{土砂変化率} = 0.56 - 0.25 - 0.05 = 0.26 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.55
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	250.0	0.60
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.70
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.70
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	6	管外径	60
W:	6	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

②4工区PPφ20布設工数量計算

管天(H1)= 0.65 m

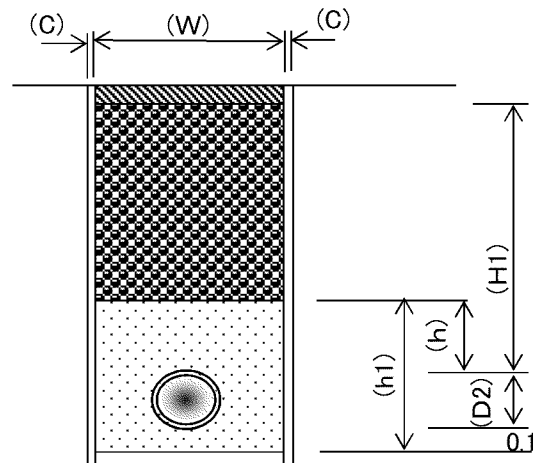
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.027 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = \text{掘削幅(W)} \quad \text{管天(H1)} \quad \text{管外径} \quad \text{敷砂} \\
 & \quad 0.55 \times (0.61 + 0.027 + 0.1) = 0.41 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = \text{掘削幅(W)} \quad \text{管天(H1)} \quad \text{砂埋戻厚(h)} \quad \text{路盤} \\
 & \quad 0.55 \times (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = \text{掘削幅(W)} \quad \text{砂埋戻厚(h1)} \quad \text{管断面積} \\
 & \quad 0.55 \times 0.427 - 0.0006 = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \text{掘削幅(W)} \quad \text{管天(H1)} \quad \text{砂埋戻厚(h)} \\
 & \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = \text{掘削土量} \quad \text{流用土埋戻し} \quad \text{土砂変化率} \\
 & \quad 0.41 - \quad \div \quad 0.9 = 0.41 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	EFφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	2	管外径	27
W:	2	掘削幅	0.55



土 工 数 量 表

③4工区PPφ13布設工数量計算

管天(H)= 0.65 m

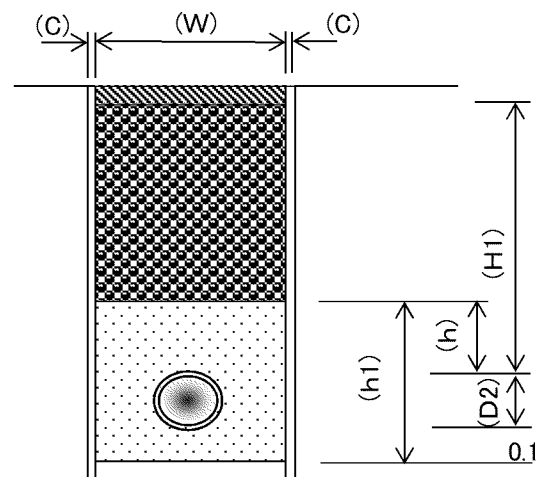
$$\begin{aligned}
 & \text{掘削幅(W)} \quad \text{矢板厚(C)} \\
 & \text{管外径(D2)} \quad 0.022 \quad \text{掘削幅(W)} \quad 0.55 \quad + \quad = \quad 0.55 \quad \text{m} \\
 & \text{掘削土量} = 0.55 \times (0.61 + 0.0215 + 0.1) = 0.40 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{碎石埋戻} = 0.55 \times (0.62 - 0.3 - 0.16) = 0.09 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{砂埋戻} = 0.55 \times 0.422 - 0.0004 = 0.23 \quad \text{m}^3 \\
 & \text{流用土埋戻} = \quad \times (\quad - \quad - \quad) = \quad \text{m}^3 \\
 & \text{残土処分} = 0.40 - \quad \div 0.9 = 0.40 \quad \text{m}^3
 \end{aligned}$$

※管天(H1)は、舗装厚削除済数量

D2:管外径一覧表(mm)

区分	管 種	管外径	掘削幅
1	PPφ13	21.5	0.55
2	PPφ20	27.0	0.55
3	PPφ25	34.0	0.55
4	PPφ30	42.0	0.55
5	PPφ40	48.0	0.55
6	PPφ50	60.0	0.55
7	HPEφ75	90.0	0.55
8	HPEφ100	125.0	0.55
9	DCIPφ125	143.0	0.65
10	HPEφ150	180.0	0.55
11	DCIP(GX)φ200	220.0	0.75
12	DCIP(GX)φ250	271.6	0.80
13	DCIP(GX)φ300	322.8	0.85
14	DCIP(GX)φ350	374.0	0.90
15	DCIP(GX)φ400	425.6	0.95
16	DCIP(GX)φ450	476.8	1.00

D2:	1	管外径	21.5
W:	1	掘削幅	0.55



[illegible]